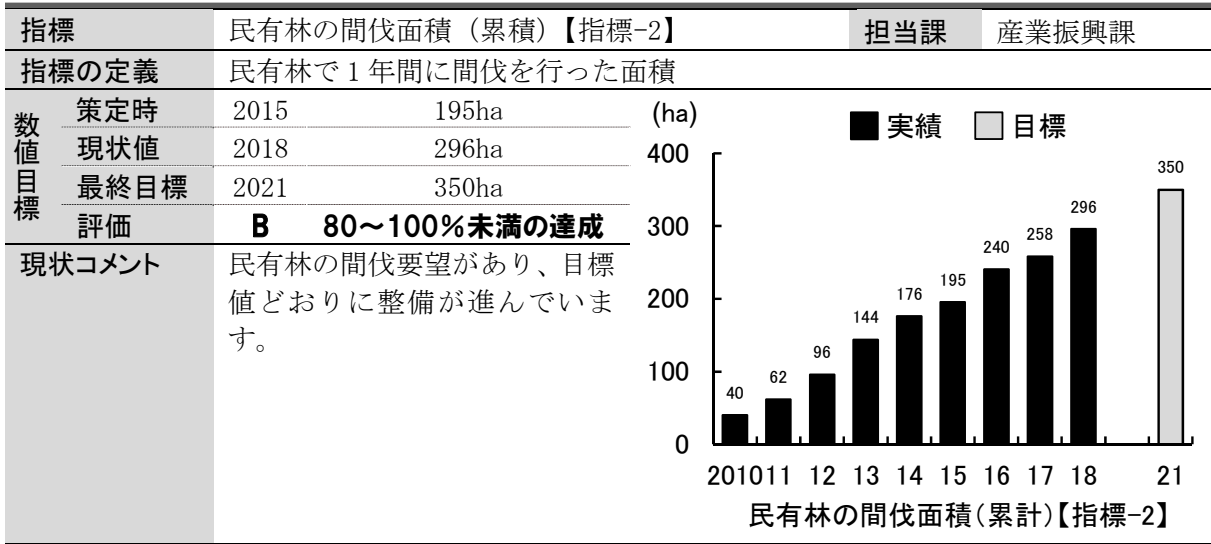


環境目標 1 人と自然がともに生きるまち

行動方針 2 森をまもる

■数値目標



■町の施策 (●：重点プロジェクト)

2-1 総合的な森林管理

- 長泉町森林整備計画に基づき、森林の保全・整備に努めます。

【概ね順調】 森林組合と調整し、森林の保全・整備に努めました。

【産業振興課】

2-2 林道の整備

- 森林組合と調整し、林道の整備を図っていきます。

【概ね順調】 森林組合と調整し、林道の整備を図りました。

【産業振興課】

2-3 在来種による森づくり

- 水と緑の杜公園における針葉樹から広葉樹への転換をはじめ、在来種による森づくりを推進します。[重点1]

【概ね順調】 森づくり事業を実施しました。

【工事管理課】



森づくり

2-4 森林の保全と適正利用

- 保安林制度や林地開発許可制度の適切な運用を図るとともに、法令などの制限に従い、事業者に対し指導・助言等を行います。

【順調】 法令などの制限に従い、事業者に対し指導・助言などを行い 【産業振興課】
ました。

- 森林の利用転換については、森林の多面的機能の低下を防止することに十分留意し、周辺の土地利用との調和を図りつつ対応するよう指導します。

【順調】 法令などの制限に従い、事業者に対し指導・助言などを行い 【産業振興課】
ました。

- 森林の土地の形質の変更については、水害や水の確保への影響、環境悪化などに留意した上で森林の適正な利用が図られるように指導します。

【順調】 法令などの制限に従い、事業者に対し指導・助言などを行い 【産業振興課】
ました。

- 国有林については、国土の保全や水資源かん養などの公益的機能に優れていることから、水土保全を重視する森林として、林野庁静岡森林管理署と連携しながら保全を促進します。

【順調】 法令などの制限に従い、事業者に対し指導・助言などを行い 【産業振興課】
ました。

2-5 森林施業の推進

- 町有林の人工林については、適正な間伐を継続的に実施し、山林を保全していきます。

【順調】 町有林の間伐・下刈りを実施し、治山に取り組みました。 【企画財政課】

- 他の関連部署も含めて森林組合と打ち合わせ等を行い、森林施策の円滑な実行を図ります。

【順調】 県森林整備課、森林経営課及び森林組合と打ち合わせなどを 【産業振興課】
行い、森林施策の円滑な実行に努めました。

- 森林組合との連携を密にし、林業従事希望者には支援していきます。

【概ね順調】 森林組合との連携を密にし、林業従事希望者の把握に努めま 【産業振興課】
した。

- 里山林の森林整備の一環として町民参加型の植林・育成活動を行い、町民が森林づくりに関わる機会を提供します。

【遅れ気味】 実施していません。(町民参加型の植林・育成活動の実施を検 【産業振興課】
討し、町民が森林づくりに関わる機会を提供していきます。)

- 森林所有者と企業を1つのまとまりとして間伐に寄与する紙等を使用し、町内で豊かな森づくりを図ります。

【遅れ気味】 実施していません。(森林所有者と企業を1つのまとまりとし 【産業振興課】
て間伐に寄与する紙などを使用し、町内で豊かな森づくりを図
ります。)

- 森林所有者間による話し合いを実施し、施業実施協定を締結して計画的な森林整備を図ります。

【遅れ気味】 実施していません。(森林所有者間による話し合いを実施し、 【産業振興課】
施業実施協定を締結して計画的な森林整備を図ります。)

- 事業者と協働による森林整備を推進するため、「しずおか未来の森サポーター」への参加を促進します。

【遅れ気味】 実施していません。(事業者と協働による森林整備を推進するため、「しずおか未来の森サポーター」への参加を促進します。)

【遅れ気味】 担当課と連携して進めていきます。 **【産業振興課】** **【くらし環境課】**

2-6 木製品の利用促進

- 関係部署との調整により、具体的な活用方法を計画し、地元産木材の需要拡大に努めます。

【概ね順調】 地元産木材の活用状況を把握し、関係部署へ啓発を行いました。 **【産業振興課】**

- 公共施設の木造化や、木製品の高度利活用など、木材の積極的な利用を促進します。

【概ね順調】 木材利用について関係部署に情報提供し、木材利用の啓発を行いました。 **【産業振興課】**

- FSC や SGEC などの森林認証を受けた木製品、ふじのくに森の町内会「間伐に寄与する紙」などを積極的に活用するとともに、町民・事業者にも働きかけます。

【遅れ気味】 実施していません。(FSC^{*1}や SGEC^{*2}などの森林認証を受けた木製品、ふじのくに森の町内会「間伐に寄与する紙」などを積極的に活用するとともに、町民・事業者にも働きかけます。)

【遅れ気味】 冊子などの作成時には、使用を検討していきます。 **【くらし環境課】**

2-7 森林や里山でのイベントなどの意識啓発

- 水と緑の杜公園だけでなく、周辺施設も利用して森づくり事業やアマゴの放流など、様々な体験活動を関連部署と連携しながら推進します。[重点 1]

【順調】 水と緑の杜公園では、関係団体と連携し、様々な町民参加のイベントを開催しました。 **【産業振興課】**

【概ね順調】 森づくり事業を実施しました。 **【工事管理課】**

【順調】 河川愛護啓発、保全のために、環境美化運動推進協議会と狩野川水系水質保全協議会において、アマゴの放流を実施しました。 **【くらし環境課】**

- 関連部署と連携しながら、水と緑の杜公園周辺でイベントを開催し、里山に関する意識啓発を図ります。[重点 1]

【順調】 水と緑の杜公園で関係団体と連携したイベントを開催し、里山と触れ合える事業を実施しました。 **【産業振興課】**

*1 FSC (Forest Stewardship Council)

世界共通の原則・制度に基づいた国際的な森林認証制度で、認証機関は森林管理協議会(FSC)。環境や地域社会に配慮して、管理・伐採が行われている森林から生産された木材・木材製品であることを認証するマーク。



*2 SGEC (Sustainable Green Ecosystem Council)

日本の森林を対象とした森林認証制度で、認証機関は緑の循環認証会議(SGEC)。日本で持続可能な森林経営を行っている森林を認証し、認証を受けた森林から生産された木材・木材製品であることを認証するマーク。

